

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「叶」・・・「吐」・・・「叱」・・・の3つの漢字～

この3つの漢字。よーーーーーく見ると・・・夢が「叶」うには何が大事なのか？また、どんな時に夢は「吐」きだされてしまうのか。また、「叱」られるになってしまうのか。

漢字が教えてくれます。では、どうぞ・・・

読者さんが、自転車で北海道1周の旅をしました。自転車で北海道1周というのは想像以上にハードだったようで・・・

最初は「坂を登った分、次は下れる」とポジティブに考えられるようですが、途中から足もボロボロになり、体力が限界に近づくと考え方が逆転。

「下ったら、登らなければいけない」と、すべてがマイナス思考に転じていくそうです。

そんなとき、ある小さな食事処に入った彼。カレーセットを注文し、ため息をついていると、おばちゃんが日焼けした彼を見て「自転車で1周かい？」と聞いてきた。

しかし、彼は返事をする余力もなかった・・・

「大変なんだね。」

このおばちゃんの優しい言葉で、張り詰めていた糸が切れたかのように、彼はおばちゃんにどっと弱音を吐いてしまったそう。

「ほんとうは家に帰りたくて、帰りたくて。これ以上は走れません。もうだめです。」

おばちゃんは彼のグチをただただ黙って聞いてくれた。そして・・・

「人間ってさ、言葉を言えるじゃない？プラスの言葉だったり、マイナスの言葉だったり。それ自体はぜんぜん悪いものではない。でも・・・漢字の「吐く」という字を見てごらん。

「口」に「土（プラスマイナス）」って書くでしょう。

もし、マイナスの言葉を控えたらどうなると思う？」

「えっ？」

「『叶う』のよ。あなたの夢は叶うのよ。やればできるわよ。ほれ、がんばりな。」

ハッとしたそうです。そして、食べていたカレーが、細胞の隅々にまで染み入るように元気が出てきて、食べ終わる頃には力がわいてきたとか。

あんなにおいしいカレーは初めてで、

「よし！やればできる！」

この言葉が頭の中で響き、これ以降、上り坂も苦にならなくなったと言います。

そして北海道1周を成し遂げたのです。

「世界一楽しくてためになる「幸せ」の授業」ひすい ことろう サンマーク文庫

この話は、まだ続きます。

家に帰った彼は、真っ先に、このおばちゃんに感謝を込めた手紙を送ったそうです。すると後日手紙の返事と段ボール箱が届きました。中には・・・たくさんの・・・レトルトカレーが・・・

「なんだ！あのとき僕に元気をくれた、力をくれたあのカレー……………レトルトかーい。」

さて・・・プラスの言葉を十回、口にすれば・・・夢は「叶」うという字になります。

マイナスの言葉を十回、口にすれば・・・夢は「吐」きだされてしまう。

ちなみに・・・プラスの言葉をいうのを十回ではなく・・・中途半端な七回でやめると・・・

はい！ 中途半端は「叱」られます！(((´▽`))) (笑)

